

平成29年度の検診日程

日程	会場
6月13日(火)	相良保健センター
6月14日(水)	細江コミュニティセンター
6月15日(木)	トーク地頭方
6月16日(金)	秋間公民館
6月17日(土)	相良保健センター
6月19日(月)	相良保健センター
6月20日(火)	勝間田会館
6月21日(水)	牧之原区民センター
6月22日(木)	さざんか
6月23日(金)	さざんか
6月26日(月)	さざんか
6月27日(火)	相良保健センター
6月28日(水)	細江コミュニティセンター
6月29日(木)	坂部区民センター
6月30日(金)	菅山農業就業改善センター
7月1日(土)	さざんか
7月3日(月)	牧之原コミュニティセンター
7月4日(火)	細江コミュニティセンター
7月5日(水)	相良保健センター
7月7日(金)	勝間田会館
7月10日(月)	坂部区民センター
7月11日(火)	細江コミュニティセンター
7月12日(水)	さざんか
7月13日(木)	トーク地頭方
7月14日(金)	相良保健センター
8月4日(土)	秋間公民館
8月5日(日)	榛原総合病院
8月7日(火)	牧之原区民センター
8月8日(水)	相良保健センター
8月9日(木)	トーク地頭方
8月10日(金)	菅山農業就業改善センター
8月16日(土)	さざんか
8月17日(日)	さざんか
8月18日(月)	細江コミュニティセンター
8月21日(木)	相良保健センター
9月2日(土)	相良保健センター
9月5日(火)	相良保健センター
9月8日(金)	さざんか
9月11日(月)	さざんか
9月29日(土)	秋間公民館
10月19日(土)	トーク地頭方
10月20日(日)	さざんか
10月21日(月)	さざんか
10月24日(木)	相良保健センター
10月25日(金)	勝間田会館
10月26日(土)	坂部区民センター
10月27日(日)	細江コミュニティセンター
10月31日(木)	牧之原コミュニティセンター
11月1日(金)	さざんか
11月2日(土)	相良保健センター
11月8日(土)	細江コミュニティセンター
11月9日(日)	相良保健センター
11月10日(月)	さざんか

*一部、午後にも検診があります。詳しくは受診券をご覧になるか健康推進課(☎0024)にお問い合わせください。

胃・大腸・肺がん、肝炎ウイルスの検診内容

検診項目	対象年齢	料金	検査内容
胃がん検診	35歳以上	1,900円	バリウムを飲んで胃のレントゲンを撮影
ペプシノゲン検査	胃がん検診受診者	2,620円	血液中のペプシノゲン測定を行い、萎縮性胃炎の程度を調べる
ヘリコバクター・ピロリ菌検査	胃がん検診受診者	1,080円	血液中のヘリコバクター・ピロリ菌抗体の有無を調べる
大腸がん検診	40歳以上	1,000円	2日分の便を取り潜血反応を検査
肺がん検診	40歳以上	無料	胸部の直接レントゲン撮影
喀痰検診	肺がん検診受診者で50歳以上の喫煙指数600以上	1,000円	3日分の痰を取って検査
前立腺がん検査	50歳以上の男性	1,750円	血液中のPSA(マーカーで前立腺特異抗原)を測定
B型・C型肝炎ウイルス検査	過去に市の同様の検査を受けたことがない40歳・45歳・50歳・55歳・60歳	無料	血液中のB型・C型肝炎ウイルスの抗原や抗体を検査
	過去に市の同様の検査を受けたことがない上記以外の40歳以上	1,300円	

*年齢は平成29年3月31日を基準としています。
*市の人間ドックを受診される人は、市のがん検診を受診できません。

検診の流れ

「平成29年度牧之原市がん検診等申込調査票」で複合がん検診(胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診・肝炎ウイルス検査)を希望された人には、受診券が送られます。受診券に記載された日にお越しください。(変更可能)

- ① 検診がある日の午前8時15分から午前11時までに会場へ
- ② 受け付けで検診項目の確認やオプション検査の追加、料金の支払いを行う
- ③ 順番に検診が開始
- ④ 検診の終了(検診結果は検診日から約3週間後に自宅へ郵送)

*受診券が手元になくても、会場で記入をすれば受診可能です。

検診の注意事項

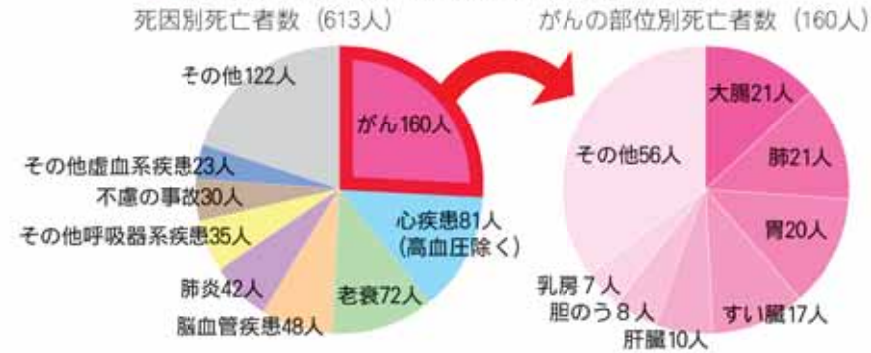
スムーズに検診を受けるためにも、以下のことに注意してください。

検診項目	注意事項
胃がん検診	▶検査前日の夜9時以降は食べ物・固形物を口にしない▶飲水は当日検査開始2時間前まで(200ミリリットル程度の水・白湯に限る)▶内服薬のある人は、検査開始2時間前までに200ミリリットル程度の水・白湯で飲む▶金具のない動きやすい服装(検査用着衣の用意あり)
大腸がん検診	▶検体を提出(容器を持っていない場合、当日は容器の受け渡しのみで後日、榛原総合病院健診センター、さざんか、相良保健センターに提出)▶検診を取りやめる場合には、「未開封容器」をさざんか、相良保健センター、各検診会場に受診券と共に返却
肺がん検診	▶上半身薄い肌着一枚で撮影▶湿布や磁気パンソウコウは外す▶ボタンや刺しゅう、プリント柄の肌着は着衣のまま撮影できない(検査用着衣の用意あり)▶胃がん検診を同日に受診する人は、必ず先に胸部レントゲンを撮影
その他	検診当日に天候不良などによる警報が発令されたときには、安全のため検診を中止する場合あり

症状がないから受けてよう **がん検診**



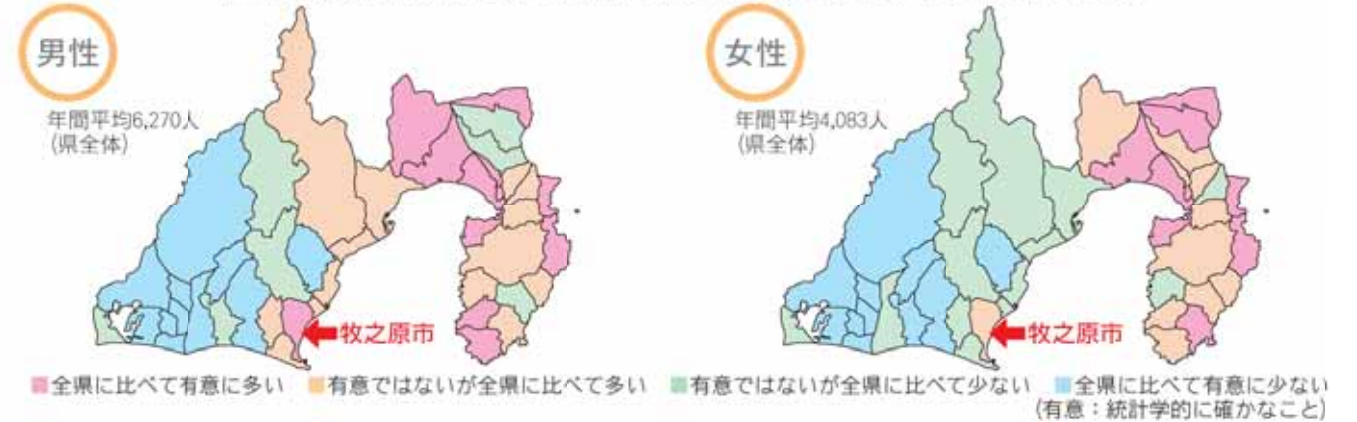
平成26年牧之原市民の死因と死亡者数



日本では2人に1人が生涯のうちに「がん」にかかり、男性は4人に1人、女性では6人に1人が、がんが原因で死亡するといわれています。
また、平成27年の日本では約37万人が、がんで亡くなっており、日本人の死亡原因の第1位であり、今や国民病とされています。
問い合わせ 健康推進課 長谷川 ☎0024

静岡県のがん標準化死亡比 (平成22年~平成26年)

市町間で適切な比較を行うため、高齢化など年齢構成を調査し、そろえた死亡率です。



死因の一番は「がん」

平成26年において、市の死亡者数は613人。そのうち160人(約25%)が、がんで亡くなっています。がんの部位別死亡者数では、一番多いのが大腸がん、続いて肺がん、胃がんとなっています。

全国的にも大腸・肺・胃の3つのがんの死亡者数が多く、このがんを予防することは、自分の健康を守る上でも大切です。

静岡県の平均値から見ると、牧之原市は、県内で男女ともにがんになっていく人が、多い状況になっています。がんがんで亡くなる人を減らすためにまず大切なのは、「がん検診」の受診です。

「早期発見と治療」が命を救う大事なこと

市の平成26年度から平成28年度の検診受診率は、胃がんが6%台、大腸がんが11%前後、肺がんが17%から18%と、決して高いとはいえません。特に平成28年度の受診率は、3つすべての検診について下がりました。

医療の進歩により、がんの

がん検診対象者の受診率 (牧之原市)

検診項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度
胃がん検診	6.5%	6.7%	6.4%
大腸がん検診	10.8%	11.8%	11.7%
肺がん検診	18.6%	18.3%	16.9%

早期発見と治療が命を守るためにも、自覚症状がないうちから検診を受診し、がんの早期発見や早期治療をしていくことが大切です。「自分は絶対に大丈夫」と思ってしまう人も、家族や友人で「身体の状態が心配だな」と思った人がいたら、やさしく声を掛け受診を勧めあげることが大切です。

完治する確率は高まったといわれていますが、がんが進行してしまうほど、治療が困難になります。

早く完治するには、がんが進行する前に治療を始めることが重要です。

命を守るためにも、自覚症状がないうちから検診を受診し、がんの早期発見や早期治療をしていくことが大切です。「自分は絶対に大丈夫」と思ってしまう人も、家族や友人で「身体の状態が心配だな」と思った人がいたら、やさしく声を掛け受診を勧めあげることが大切です。